

		して肩が示されていること。(No.15が+であること)
36	肩あるいは腕わきの関節	肩または腕の関節の片方でも、何らかの形で関節のあることが示されていること。(No.15およびNo.35が+であること)
37	あごと額	眼の上、口の下に、それぞれ額、あごに相当する広さのあること。(横向き……輪郭が存すればよい。正面向き……まゆと髪の間隔、または口の下部から末端部までの間隔があること)
38	たなごころ	たなごころが指および腕と区別して描いてあるもの。
39	衣服の部分 4つ以上	衣服の部分、たとえば、帽子、靴、上衣、ネクタイ、ベルト、ひも、ボタン、靴下、たび、下駄など、4つ以上描いてあればよい。
40	描線A	描いた線が、しっかりしていて、接続すべきところは接続し、途中で無用の交差をしたり、重複したり、すき間を残したりしていないもの。
41	脚の関節	ひざまたはまた(もちろん両方共でもよい)で関節の存在が示されていること。(例：走っているところ)
42	鼻と口の輪郭	鼻と口とが輪郭があり、口には上くちびると下くちびるがあること。直線、円、四角の鼻は不可。
43	横向きA	横向きの場合で、頭、胴、および足が横向きに正しく描いてあること。
44	鼻孔	鼻の穴が描いてあること。鼻孔だけでもよい。横向きの場合は「ひっかけり」があればよい。
45	顔つき	顔が左右対象に描かれ、眼、耳、口、鼻など輪郭のあることはもちろん対称に描かれていること(バランスのよいこと)。横向きなら、眼の長さや頭の大きさの割合が整っていること。
46	あごの突出	あごがはっきりあらわされているもの。横向きなら突き出し、正面図ならくちびるの下に顔の輪郭と区別して